

ひとはく通信

ハーモニー

121

Jun. 2023

企画展

妖怪と自然の 博物館



牧野富太郎(1862-1957)は高知県出身の植物分類学者で、この春のNHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルです。

牧野が研究のための借金に苦しんでいた1916(大正5)年に、新聞報道を受け、神戸の資産家、池長孟(1891-1955)氏が多額の援助をしました。それが契機となり、牧野は、神戸市兵庫区会下山の池長植物研究所などに滞在し、兵庫県周辺で植物の調査を行い、多く

の在野の研究者との交流を深めていきました。

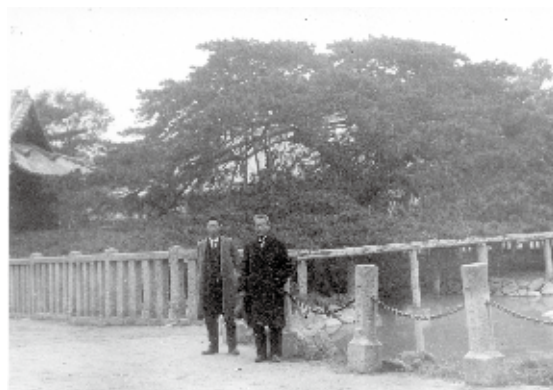
灘中学校の教諭であった川崎正悦(まさよし:本名:川崎正1893-1978)氏は深い関わりのあった人物で、牧野はしばしば、魚崎の川崎家に宿泊もしました。

川崎家には多くの牧野の写真が残っており、企画展に使わせていただきました。代表的な写真をここに紹介します。

鈴木 武(コミュニケーション・デザイン研究グループ)



1937(昭和12)年4月29日
宝塚市山本牡丹園にて



1929(昭和4)年11月24日
高砂市曾根天満宮 二代霊松の前にて 左は川崎氏



1929(昭和4)年11月24日
姫路市大塩のノジギク群落にて 左は川崎氏



1937(昭和12)年8月15日
大阪府高槻市鶴殿でヨシを手にする牧野富太郎



1936(昭和11)年9月19日
三田市永澤寺に宿泊した牧野富太郎

